

近畿国立大学附属学校園PTA連合会
所属各校園 PTA会員 各位

近畿国立大学附属学校園PTA連合会
会長 西村 寧

近附P連 令和3年度 交流事業・実践活動協議会の開催について

拝啓 向寒の候、近附P連会員みなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当PTA連合会の活動および運営に深いご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

さて、この度、近附P連 令和3年度 交流事業・実践活動協議会を下記のとおり開催する運びとなりました。

本年度は講師として育児についてTV出演などで活躍されている小崎恭弘氏をお招きし「新しい時代の子育て、家庭の在り方」と題し講演していただきます。コロナ禍により生活環境が変わり、子どもとの関係や教育観、家庭生活などの価値観も以前とは変化し戸惑いを感じている人が多いのではないのでしょうか。今回ZOOM参加者(300名まで)は直接小崎先生に質問していただくことも可能です。また校種別分科会では同じ校種の方とグループになり、感想や悩みを話し合い、交流を深めたいと考えています。各校園PTA会員みなさまにおかれましては、ご多忙の折かとは存じますが、ぜひ、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

演 題 : 「新しい時代の子育て、家族の在り方」
～子どもの成長に合わせた関わり方のポイント～

講師 小崎 恭弘 氏

大阪教育大学健康安全教育部教育学部教員養成課程家政教育部門 教授

NPOファザーリングジャパン 顧問

日 時 :	令和4年1月30日(日)	9:30 ~	ZOOM入室開始
		10:00 ~ 10:10	開会
		10:10 ~ 11:00	講演
		11:00 ~ 11:15	質疑応答(全体)
		11:15 ~ 11:45	校種別分科会
		11:45 ~ 11:55	分科会別発表
		11:55 ~ 12:00	閉会

開催方法 : テレビ会議システム ZOOM

参加費 : 無料

参加資格 : 近畿国立大学附属学校園PTA会員

参加方法 : ZOOM または Y o u T u b e 参加

(1) ZOOM参加の場合は質疑応答で小崎先生に直接質問が可能です。

※希望者先着300名、それ以外の方はY o u T u b e参加となります。

(2) Y o u T u b e参加の場合は視聴のみとなります。

申込方法 : 下記URLあるいはQRコードよりお申込み下さい。

<https://forms.gle/5yfi87rXyJzUf5xJ7>

ZOOM参加申込が募集人数を超過した場合は、先着順とさせていただきます。ご了承ください。万一、ご参加頂けない場合は、1/25(火)までにご連絡させていただきます。

申込期間 : 令和3年11月8日(月) ~ 令和4年1月21日(金)まで

本件に関する問い合わせ先 : 近附P連事務局

E-mail kinfupren.senmu@gmail.com





【プロフィール】

小崎 恭弘（こざき やすひろ）氏

大阪教育大学教育学部学校教育教員養成課程家政教育部
門 教授

1968年生まれ。（兵庫県出身）

97年武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科終了。09年関西学院大学大学院人間福祉研究科後期博士課程満期退学。91年西宮市市役所初の男性保母として採用・市役所退職後、神戸常盤大学を経て、現職。専門は「保育学」「児童福祉」「子育て支援」「父親支援」

兵庫県西宮市初の男性保育士として施設・保育所に12年勤務。三人の男の子それぞれに育児休暇を取得。それらの体験を持ちに「父親の育児支援」研究を始める。テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等にて積極的に発信を行う。父親の育児、ワークライフバランス、子育て支援、保育研修等で、全国で年間60本程度講演会等を行う。これまで2000回の公演実績を持つ。

NHK すくすく子育て、視点・論点、たすけて極めびと、ビビット等出演
朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、神戸新聞等でそれぞれに連載を持つ。

NPO ファザーリングジャパン顧問

東京大学発達保育実践政策学センター研究員

兵庫県、大阪府、京都府等様々な自治体で委員を務める。

○著書

「育児父さんの成長日誌」朝日新聞社。「男性保育士物語」ミネルヴァ書房。「家族支援論」相川書房。「ワークライフバランス入門」ミネルヴァ書房。「パパちから検定」小学館。「パパルール」合同出版。「わが家の子育てパパしだい」「きょうだいの育て方」「お母さんのためのくじけない男の子の育て方」「思春期男子の育て方」「家族・働き方・社会を変える父親への子育て支援：少子化対策の切り札（別冊発達）」など著書多数

2014年10月に出版した「男の子の本当に響く叱り方・ほめ方」（すばる舎）が、子育て関係本として8.9万部の大ヒット。Amazon ランキングで一時2位になる。その後次々と「男の子本」を出版し、ヒットを続ける。「男の子のプロ」とも言われる。朝日新聞、読売新聞、毎日新聞等で連載を執筆。